

**1 石川県 中能登町議会**

「能登半島地震における被害の概要と行政対応。復旧・復興の現状と課題。防災施策のに直し等具体例。発災後の議会対応について」

中能登町では、震度6弱の地震により住家被災4,344棟、断水や公共土木被害が発生した状況と、発災直後の災害対策本部設置、避難所運営、給水体制の確保について説明を受けた。応急危険度判定・罹災証明の受援体制、災害ごみ仮置き場選定の課題、仮設住宅や公費解体の進捗、上下水道復旧の遅れと業者不足、議会のBCP対応など、震災対応全体の実態と教訓を把握する視察となった。

**2 石川県羽咋市 JA はくい 営農部のと里山農業塾**

「有機農業実施計画の概要と課題。農地の担い手確保の現状と展望。慣行農業従事者との共有。行政との共同について」

羽咋市とJAはくいによる自然栽培の背景、経緯、事業化の過程について説明を受けた。消滅可能性都市としての危機感とJAの後継者不足を契機に農業塾を開始し、「自然栽培5か年計画」として行政主導で推進した取り組みである。全量買取制度や移住・就農支援、独自認証制度、学校給食への導入など幅広い施策により市場が確立し、地域活性化にもつながっている事例を学んだ。

**3 福井県 あわら市議会**

「行政DX推進における現状と課題。DX推進事業の概要と各分野での具体施策について」

あわら市では、「暮らしやすくて幸せを実感できる街スマートシティあわら」を理念にDX推進計画を進めしており、デジタル人材育成とデジタル活用を軸に6分野で事業を展開している。専門部署設置、DX推進員制度、スマホ相談所やオンライン子育て相談など市民向けサービスの拡充、行政・議会のペーパーレス化、教育現場のICT活用など多岐にわたる取り組みを確認した。官民連携やMicrosoft365導入など、今後の展望も示された。

**4 福井県池田町 ウッドラボ池田**

「林業振興について。ウッドラボ池田の視察他」

池田町の森林資源の現状、歴史的背景、費用構造、森林經營計画、生態系・獣害、教育・木工スクール、製品化、再エネ連携、人材・ガバナンスまで多岐にわたる講義を受けた。森林率92%の町では人工林の高齢化や再造林未実施、労務・輸送コスト、所有者不在、獣害、森林組合の脆弱化が課題として整理された。希望

の森百年プロジェクト、木工スクール運営、バイオマス設備整備など長期的な山づくりと資源循環の方向性が示された。

全体を通じて

中能登町の震災対応、羽咋市の自然栽培、あわら市のDX推進、池田町の森林資源活用と、各分野で先進的な取組を学ぶ機会となった。行政と地域住民、関係団体との連携の重要性と、持続的な地域づくりに向けた体制整備の必要性を改めて認識した。これらの知見を今後の町政や委員会活動に活かしていきたい。